

# 対馬博物館

TSUSHIMA MUSEUM



こしたかしえもん  
越高獅子右衛門

みなけさん

対馬博物館公式  
ナビゲートキャラクター

4月30日に、いよいよオープンする対馬博物館。対馬にとって初めての「博物館」は一体どんなものなのでしょうか？博物館が担う役割やおススメの展示など、対馬博物館の“中の人”に聞きました。



# 対馬博物館 町田一仁館長に聞きました!

## 一博物館とはそもそも何なのでしょう?

図書館といえば、本や古書などがたくさんある場所というのがすぐ出てくると思いますが、博物館となるとイメージしづらいと思います。「博物館行き」というと、価値はあるが古臭い物という少し残念な表現で使われます。確かに、博物館は、色々なモノが集まるという場所であり、それらを展示して来館者に見せるという場所でもあります。しかし、それは表面的な部分でしかありません。博物館は、来場した人たちに展示品を通じてメッセージを発信する役割も持っています。

## 一資料展示であれば、市内には資料館がありますか?

海外の人たちや旅慣れた人たちは、旅行に行くと、まずその地域の博物館へ行きます。地域のことを知るには、博物館に行くのが一番わかりやすいというのです。

合併前の旧町時代に、資料館や資料室が作られましたが、それらはそれぞれの町に特化した展示であるため、対馬全体を知ることはできません。また、ただ資料が展示してある場所だけではいけません。その地域の今に合わせた展示内容や企画が行われていて、初めてその地域のことを知ることができます。それを行うのが学芸員の役割です。学芸員は地域に目を向けて、社会性をもって活動する必要があります。今後は博物館と資料館で情報共有と機能分担を図る予定です。

## 一博物館のあるべき姿とは?

博物館は、一方的に教えてもらう場所ではなく、市民の皆さんに我々が教わったり、一緒に文化を創造する場所だと思います。そうすることによって、現在の対馬の空気を博物館に取り入れることができます。また、この博物館で感じ、学んだことをお仕事や生活に活かしていただき、対馬の新しい活力になれば、博物館としての存在が生きてくることになります。対馬のゲートウェイとして島外から来た方に入館してもらう、対馬の新しい一面を知ってもらうために島の人に活用してもらう。そうすることによって生まれた風が吹き抜けることによって、博物館は生きてくるのだと感じています。

## 一博物館が市民にとってどんな場所になれば良いと思いますか?

市民の皆さん、特に若い人たちにとって、島を誇りに思える様な学びができる場所であってほしいと思います。対馬の先人が護り伝えてきた資料や、豊かな自然を感じる事ができる資料、そこに市民の皆さんが関わることで、対馬が素晴らしい島なんだということを感じてほしいと思っています。そのためには、我々職員が、しっかりと皆さんと向き合っていく必要があると思います。



日本側の学術委員会副委員長を務めた

## 朝鮮通信使が結んだ縁

中学の教員を目指していたんですが、縁あって、故郷の下関市で学芸員として働きました。在日の人たちが多く住む下関で、地域の課題を解決するきっかけになればと、両国の友好関係を育んだ朝鮮通信使の展示

を行うことを機に、朝鮮通信使や対馬とのご縁が生まれました。「朝鮮通信使に関する記録」を“世界の記憶”に登録する際には、日韓両国の関係者が一緒になって登録にむけて協力しました。今回、対馬博物館や朝鮮通信使歴史館を整備することとなった対馬で、何かお手伝いできればと、3年前に対馬にやってきました。

## 一お休みの日は?

対馬を知るためにも、島内各地をドライブしたり、古い町並みなどの写真を撮ったりしています。あと、なかなか帰れませんが、下関に帰ったら、4歳の孫と遊ぶことが、今一番幸せな時間です。



町田 一仁 館長(山口県出身)

昭和54年 山口県下関市役所へ入庁  
博物館学芸員、文化財保護課長  
歴史博物館長

令和元年 対馬市入庁  
令和2年 対馬博物館初代館長



# 対馬と博物館の魅力を学芸員の皆さんに聞いてみました!

## 自然史を通して見た対馬

自然史担当 **谷尾 崇** 学芸員  
(神奈川県出身)

やっぱり  
昆虫が好き!

対馬は、日本の豊かな生物相がどのようにして成立したのかわかる手がかりとなる重要な場所で、多くの自然史研究者が訪れる場所です。そんな対馬の自然を目指して訪れる人たちにとって、博物館が情報の交流拠点になっていければと思っています。

いち押し  
收藏品 **あいうらまさのぶ**  
**相浦正信**  
コレクション

対馬で40年以上も研究を続けていた故相浦正信さんのコレクションです。相浦さんが肌で感じた対馬の昆虫の世界を、皆さんも追体験していただければと思います。



## 歴史を通して見た対馬

歴史(近世)担当 **成富 なつみ** 学芸員  
(佐賀県出身)

コーヒー  
相棒は珈琲

対馬に残る古文書は、日本人同士のやり取りはもちろん、国を越えて交わしたものまであり、とても奥が深いです。外交に関する文書がとても多く遺されているのは対馬ならではの貴重な資料が身近にあることを、もっと知ってほしいです。

いち押し  
展示品 **やくざいしつせいきじ**  
**薬材質正紀事**

江戸時代、朝鮮の薬や医学の知識は、とても貴重なものでした。この資料は、徳川吉宗の命を受けて対馬藩が朝鮮で使われていた薬の材料について調べた報告書です。辞書やネットで簡単に情報入手できる現代と違い、手探りで調べ上げた当時の人たちの様子を感じることができる資料です。



## 美術を通して見た対馬

美術担当 **小栗栖 まり子** 学芸員  
(兵庫県出身)

三度の飯とアート!  
を愛す

美術に携わる者にとって一度は訪れたい地・対馬は、美術の視点を通して見ると、歴史や皆さんの暮らしの中で生まれた対馬ならではの「美のかたち」を発見することができます。博物館での活動を通して、皆さんと一緒に沢山の美を見つけ、その魅力をお伝えできればと思っています。

いち押し  
收藏品 **ぼんしょう**  
**梵鐘** 重要文化財

清玄寺ゆかりのこの梵鐘は、宗盛家・職家父子らの発願で北九州の職人たちがつくりました。職人が対馬に来て製作したと考えられ、全体の造形に朝鮮の様式を取り入れています。対馬を通じた人や技術の往來の歴史も刻まれた貴重な資料です。



## 考古学を通して見た対馬

考古資料担当 **尾上 博一** 学芸員  
(長崎市出身)

愛読書は  
推理小説

古代の対馬人は、海を越えた広い交流で各地のさまざまなモノを得ていました。一方で自分たちの文化をよく保っており、伝統を堅持しながら積極的に他文化を利用する姿が窺えます。現代の暮らしでも参考にしたい点だと思っています。

いち押し  
收藏品 **さかかいづかしつとひん**  
**佐賀貝塚出土品**  
重要文化財

この縄文時代の遺跡からは、九州や南島、東北地方から朝鮮半島まで、多くの地域からもたらされた遺物が見つかっています。広く活発な技術交流や製品の交易、生産の様子を示す重要な遺跡です。



# 歴史を通して見た対馬

宝物は家族との  
時間です

歴史(中世)担当 立花 大輔 学芸員  
(岡山県出身)

対馬に資料が多く残る江戸時代などと比べ、あまり目立たない対馬の中世ですが、この時代に力をつける宗家のことや、活発化する交易など、知れば知るほど興味が泉のように湧き出てきます。この時代を知ることで、きっと、対馬の歴史が線となって見えてくるはずです。



## いっしょに 収蔵品

かねいしじょうあとしやつとひん

### 金石城跡出土品

博物館がある場所は金石城があり、そこで発掘されたものも展示されます。展示と場所で歴史を感じてもらいたいです。また、これまで展示される機会に恵まれなかった品々も多く展示され、上県町の大石原遺跡や美津島町の金田城などで発見された貴重な資料も、皆さんにご覧いただきたいです。



## 県立対馬歴史研究センター

国の重要文化財が5万点！国内屈指の資料が対馬に

博物館の中には、県の対馬歴史研究センターも設置されています。センターは「大陸と日本との懸け橋となった宗家が残した貴重な資料を、後世につないでほしい」という、対馬の人たちの願いを受けて、昭和52年に開館した対馬歴史民俗資料館が前身です。収蔵する8万点にもおよぶ宗家文庫史料のうち、平成24年には、国の重要文化財として5万点が指定を受けました。今回、対馬博物館として合築し同じ建物になったことで、より多くの貴重な文化財を展示することができるようになります。また、博物館が開館した後、修復の様様子も見学できるように準備が進められています。(不定期)



長崎県対馬歴史研究センター



旧対馬歴史民俗資料館

長崎県対馬歴史研究センターでの修復の様子



対馬の人たちの手によって進められる修復作業

## 資料館や各地の文化財で学びを深めよう！



対馬朝鮮通信使歴史館



峰町歴史民俗資料館

対馬博物館以外にも、分館の対馬朝鮮通信使歴史館や各町にある資料館・資料室など、市内には対馬のことを深く知ることができる場所がたくさんあります。そのうえ、市内各地にはたくさんの文化財や史跡があり、それぞれ生きた学びの場所となっています。対馬博物館を入り口に対馬のいろいろなことに興味を持って、より対馬の魅力を深く知る機会にはしてはいかがでしょうか？

博物館は、そこに何があるかだけでなく、その地域に住む人たちが、どう活用するかということも大切になります。自然や文化、歴史という対馬の素晴らしい財産を博物館を通してより身近に感じ、誇りをもって次の世代につないでいくために、多くの市民の皆さんが博物館に関わってくださることを期待しています。

4月30日の開館に合わせ、博物館を中心に、様々なイベントが予定されています。QRコードで最新情報をチェック！博物館の詳細な案内は折り込みチラシをご覧ください。

詳しい情報はこちらから



対馬博物館



対馬朝鮮通信使歴史館